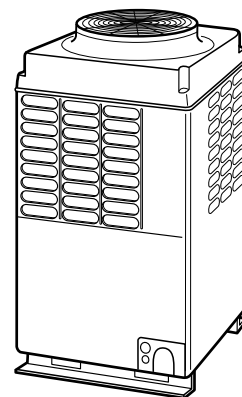




パッケージエアコン 取扱説明書



室外機

形 名
インバーター

ROP-AP2245HT-1, (Z), (ZG)
ROP-AP2805HT-1, (Z), (ZG)

もくじ

安全上のご注意	1
各部のなまえとはたらき	3
エアコンの運転条件	3
据え付けについて	4
仕 様	5
保証とアフターサービス	7

- このたびはパッケージエアコンをお買いあげいただき、まことにありがとうございました。
- この商品を正しく使用していただくためにお使いになる前にこの取扱説明書と室内ユニットに付属されている取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られる所に必ず保管してください。また、お使いになられるかたが代わられる場合は必ず本書をお渡しください。

安全上のご注意

●お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。つぎの内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

表示の説明



警告

“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊１）を負うことが想定される内容”を示します。



注意

“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊２）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊３）の発生が想定される内容”を示します。

＊１：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

＊２：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

＊３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明



禁止

⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



指示

●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



注意

△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

警告

据え付け上の警告

据え付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する

据え付けには専門の知識と技術が必要です。ご自分で据え付け工事をされ不備があると、火災・感電・けが・水漏れなどの原因になります。



据え付けを依頼する

据え付ける場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策を行う

限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据え付けてください。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。



限界濃度を超えない対策をする

指定冷媒以外は使用（冷媒補充・入替え）しない

指定冷媒以外を使用した場合、機器の故障や破裂、けがなどの原因になります。



禁止

フロン類をみだりに大気中に放出しない

フロン類を大気中に放出することは、法律で禁止されています。



強制

別売品は必ず弊社指定の製品を使用する

別売品は、必ず弊社指定の製品を使用してください。指定以外の製品を使用すると、火災・感電・水漏れなどの原因になります。また、取り付けは専門の業者に依頼してください。



指定製品を使用する

アース工事が正しく行われているか確認する

法律によりD種接地工事が必要です。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



アースを確認する

使用上の警告

長時間冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎない

体調悪化・健康障害の原因になります。



禁止

空気の吸込口や吹出口に指や棒などを入れない

内部でファンが高速回転しておりますのでけがの原因になります。



禁止

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して手元電源スイッチを切り、お買い上げの販売店へ連絡する

異常のまま運転を続けると火災・感電・故障などの原因になります。



手元電源スイッチを切る

高圧洗浄機などによるエアコン洗浄は行わない

漏電によって感電や火災の原因になります。



禁止

エアコンが冷えない・暖まらない場合は、冷媒の漏れが原因のひとつと考えられるので、お買い上げの販売店に相談すること。冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理内容をサービスマンに確認する

エアコンに使用されている冷媒は安全です。

冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。



強制



警告

移設・修理などの警告

改造は絶対にしない

火災・感電などの原因になります。



禁止

修理はお買い上げの販売店に依頼する

修理に不備があると火災・感電などの原因になることがあります。



依頼する

エアコンを移動・再設置する場合は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する

据え付けに不備があると火災・感電・けが・水漏れなどの原因になります。



移設を依頼する



注意

据え付け上の注意

ドレン配管が、確実に排水するように施工されているか確認する

配管工事に不備があると水漏れをおこし、家財などをぬらす原因になります。



ドレン排水を確認する

漏電ブレーカーが取り付けられているか確認する

法規上漏電ブレーカーの取り付けが必要です。漏電ブレーカーが取り付けられていないと感電の原因になります。



漏電ブレーカーを確認する

可燃性ガスの漏れる恐れのない場所に設置されているか確認する

万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると発火の原因になることがあります。



据付場所を確認する

室外ユニットが基礎に固定されているか確認する

基礎に固定しないと転倒などによる事故の原因になることがあります。



固定方法を確認する

使用上の注意

エアコンを水洗いしない

感電の原因になります。



禁止

エアコンの風が直接あたるところに燃焼器具を置かない

燃焼器具の不完全燃焼の原因になります。



禁止

長期使用で据付台などが傷んでいないか確認する

傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながりけがなどの原因になります。据付台を確認する



燃焼器具といっしょに運転するときは、こまめに換気をする

換気が不十分な場合は酸素不足の原因になります。



換気する

エアコンの風が直接あたる場所には動植物を置かない

動植物に悪影響を及ぼす原因になります。



禁止

可燃性スプレーなどをエアコンの近くに置いたり、エアコンに直接吹きかけない

発火の原因になります。



禁止

室外ユニットの吸い込み部やアルミフィンにさわらない

けがの原因になることがあります。



禁止

ぬれた手でスイッチを操作しない

感電の原因になります。



禁止

食品・動植物・精密機器・美術品の保存などの特殊用途には使用しない

品質低下の原因になります。



禁止

掃除をするときは、必ず運転を停止して手元電源スイッチを切る

内部でファンが高速回転していますのでけがの原因になります。手元電源スイッチを切る



正しい容量のヒューズ以外は使用しない

針金や銅線を使用すると火災や故障の原因になります。



電源は必ず定格電圧でエアコン専用の回路をご利用ください。

正しいヒューズを使用する

エアコンのクリーニングはお買い上げの販売店に依頼する

誤った方法で洗浄を行うと、樹脂部品の破損や電気部品の絶縁抵抗が不良等が発生して故障の原因となったり、最悪の場合は水漏れ、感電あるいは発煙・発火につながる恐れがあります。



指示

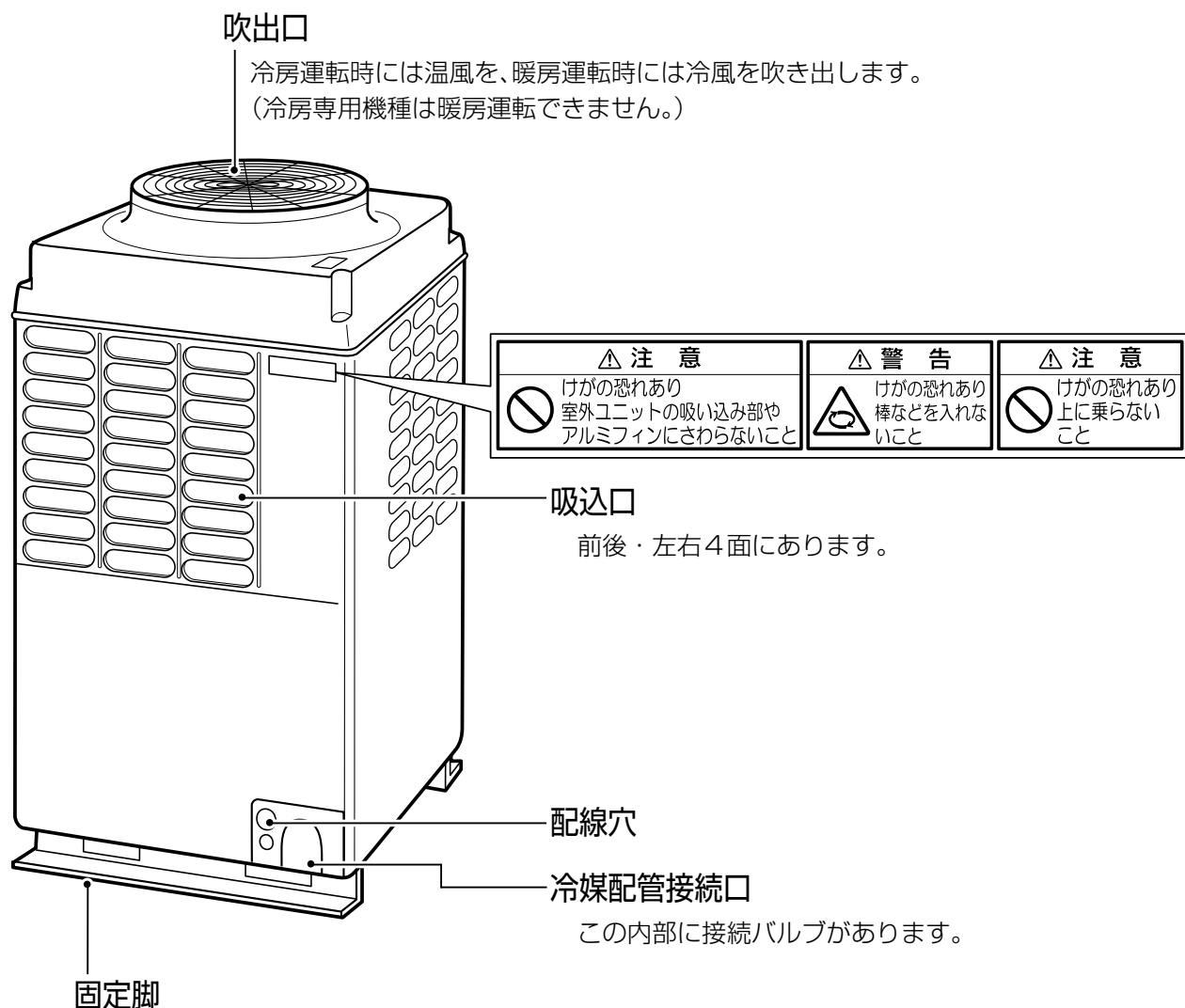
ユニットの上に花瓶など水の入った容器を載せない

ユニット内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電の原因になります。



禁止

各部のなまえとはたらき



お願い

- 運転を開始する 12 時間以上前にエアコン用電源スイッチを入れてください。また、一昼夜程度の短時間の停止のときは、電源を切らないでください。
(これは室外機に起動時無理がかかるのを防止するため、200V 電源からクランクケースヒーターへ通電し、圧縮機を暖める必要があるからです。)

エアコンの運転条件

エアコンを正しく使っていただくためにつぎの条件で運転してください。

冷房運転	-5℃以上 43℃以下
暖房運転	-15℃以上 21℃以下

この条件以外の温度で運転されますと保護装置がはたらき運転できないことがあります。

据え付けについて

〈フロン排出抑制法による冷媒充填量確認のお願い〉

この製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。

- この製品は地球温暖化防止のため、適正にフロン類を回収する必要があります。
- この製品の工場出荷時のフロン類の数量は「仕様」の項目に記載しています。システム全体でのフロン類に関する数値は、室外機に表示されています。



据付場所の選定

- 万一、冷媒が漏洩した場合、冷媒が高濃度で滞留し可燃空間が発生する恐れがあります。
通気性を確保し、冷媒が滞留しないように設置してください。据付説明書の設置スペースを遵守してください。
- 高周波を発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・通信機器等）があるところはさけてください。
（エアコンの誤動作や制御の異常やそれら機器へのノイズによる弊害が生じる恐れがあります）
- 腐食性ガスの発生する恐れのある場所で使用すると故障の原因になります。
- 油（機械油を含む）の飛沫や蒸気の多いところ、海岸地区など塩分の多いところ、温泉地など硫化ガスの発生するところ、次亜塩素酸ナトリウムを噴霧する場所、酸性またはアルカリ性雰囲気などの場所など、特殊な場所で使用すると故障の原因となります。
ご使用の場合は特別な保守などが必要になりますので、販売店にご相談ください。
- 液化炭酸冷却など化学プラントには使用できません。
- 強い風が室外機の吹出口に向かって吹き付ける恐れのあるところはさけてください。
- ドレンが問題になるような場所ではドレン配管を施してください。詳しくはお買い上げいただいた販売店にご相談ください。
- 降雪地区でのご使用の場合は、室外機に防雪架台、別売の防雪フードなどを取り付けてください。
詳しくはお買い上げいただいた販売店にご相談ください。
- 電源は必ず定格電圧でエアコン専用の回路をご使用ください。
- 室外機の吹出口、吸入口の近くに障害物を置かないでください。放熱が妨げられ性能が低下したり、保護装置がはたらき運転ができないことがあります。

運転音にもご配慮を

- 運転音や振動が他へ伝わったり、増大しないよう、強度が十分な場所をお選びください。
- 室外機の吹出口の近くに障害物を置きますと運転音増大のもととなります。
- 室外機の吹出口からの冷温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。

移設および廃棄について

転居などでエアコンを移動・再設置する場合は専門の知識が必要ですので、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにご相談してください。

この製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。

- 廃棄・整備するときは、都道府県に登録された第一種フロン類充填回収業者にフロン類の回収を依頼してください。
この時のフロン類の回収処理費用を機器廃棄者にご負担いただくことになっていますので、回収業者との間で適切な料金を取り決めてください。（第一種特定製品）
- フロン排出抑制法の回収基準を遵守して確実に回収してください。
- フロン類が回収済みであることを確認してください。
未回収の場合は第一種フロン類充填回収業者に回収を依頼してください。

仕様

(50 / 60Hz)

室 外 機 形 名			ROP-AP2245HT-1	ROP-AP2805HT-1
種 類	機 能		冷暖房兼用形	
	ユ ニ ッ ト の 構 成		分離形	
	凝 縮 器 の 冷 却 方 式		空冷形	
	送 風 方 式		直接吹出形	
電 源			三相 200V	三相 200V
圧縮機電動機定格出力 (kW)			1.8 × 2	2.7 × 2
性 能	定 格 冷 房 能 力 (kW)		22.4 (22.4)	28.0 (28.0)
	暖 房 標 準 能 力 (kW)		12.4 (25.0)	15.5 (31.5)
騒 音	音 圧 レ ベ ル ※ 1	冷房 (dB(A))	56	56
		暖房 (dB(A))	57	57
音	音響パワーレベル ※ 2	冷房 (dB(A))	78	78
		暖房 (dB(A))	79	79
総 質 量 (kg)			206	206
外 形 寸 法	高 さ (mm)		1800	1800
	幅 (mm)		990	990
	奥 行 (mm)		750	750
冷 媒 (R 4 1 0 A) (kg)			6.55	6.55

※ 1 : 音圧レベル (SPL) は、JIS B 8616 : 2006 に準拠した値です。

※ 2 : 音響パワーレベル (PWL) は、JIS B 8616 : 2015 に準拠した値です。

- 地球温暖化係数 (GWP) R410A : 2090
- 製品は改良のため、仕様の一部が変わることがあります。
- 電気特性は製品に貼り付けてある装置銘板をご覧ください。
- () 内の値は最大能力時を示します。
- 上記の仕様値は、室内ユニットが床置ダクトタイプ外調機との組合せの場合です。
その他の室内ユニットとの組合せの場合は、カタログ等をご覧ください。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

定期点検／簡易点検のお願い

本製品を所有されているお客様は、フロン排出抑制法により定期点検と簡易点検が義務付けられています。

定期点検は、下表の通り「圧縮機電動機定格出力」の値によって点検頻度が異なりますので、取扱説明書の「仕様」に記載している値を参照して専門業者に依頼してください。

圧縮機電動機定格出力	定期点検頻度
7.5kW 以上 50kW 未満	3年に1回以上
50kW 以上	1年に1回以上

簡易点検は、3ヵ月に1回以上、下記内容にそってお客様が実施されるか、または専門業者へ依頼してください。

簡易点検項目	
室外機点検	・ 機器の異常振動・異常運転 ・ 機器および機器周辺の油のにじみ ・ 機器のさすの有無、熱交換器の腐食、錆など
室内ユニット点検	・ 熱交換器の霜付きの有無

点検は、安全で容易に目視が出来る場合を除いて、危険な場合は専門業者へ依頼してください。

また、「冷えが悪くなった」「エアコンがきかなくなった」などの状況になりましたらこれらの点検を行うとともに専門業者へ問い合わせてください。

「簡易点検」に関しては、下記サイト内の検索で「簡易点検の手引き」を検索してからダウンロードして詳細を確認してください。

環境省ホームページ：<http://www.env.go.jp/>

メモ

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書 (別添)

このパッケージエアコンには、保証書を別途添付しております。
●保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●このパッケージエアコンの保証期間は、お買い上げいただいた日から1年間です。その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

●パッケージエアコンの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後9年です。

●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

フロン排出抑制法に基づく点検実施のお願い

本製品を所有されているお客様は、フロン排出抑制法に基づく点検を実施してください。

“点検記録簿”には、機器を設置したときから廃棄するときまでのすべての履歴を記載してください。

費用等点検に関する詳細につきましては、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにお問合せください。

「点検記録簿」に関しては、下記サイト内にありますので、ダウンロードしてご使用ください。

日本冷凍空調設備工業連合会のホームページ：<http://www.jarac.or.jp/>

修理を依頼されるときは

(出張修理になります)

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、手元電源スイッチを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。修理は専門の技術が必要です。修理に際して冷媒を回収する時は、フロン排出抑制法の規程にしたがってください。

保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	パッケージエアコン
形名	装置銘板に記載
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	電話番号 訪問希望日

記入されておくと便利です。

お買い上げ店名

電話番号

保証期間が過ぎているときは

修理すればご使用できる場合にはご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

修理代は技術料・部品代・出張料から構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

保守に関するご用命・ご相談はこちらまでご連絡ください。

東芝キャリア株式会社 サービス営業部 / 044-331-7438

TOSHIBA
Carrier

東芝キャリア株式会社

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34
<http://www.toshiba-carrier.co.jp>